



議案第47号

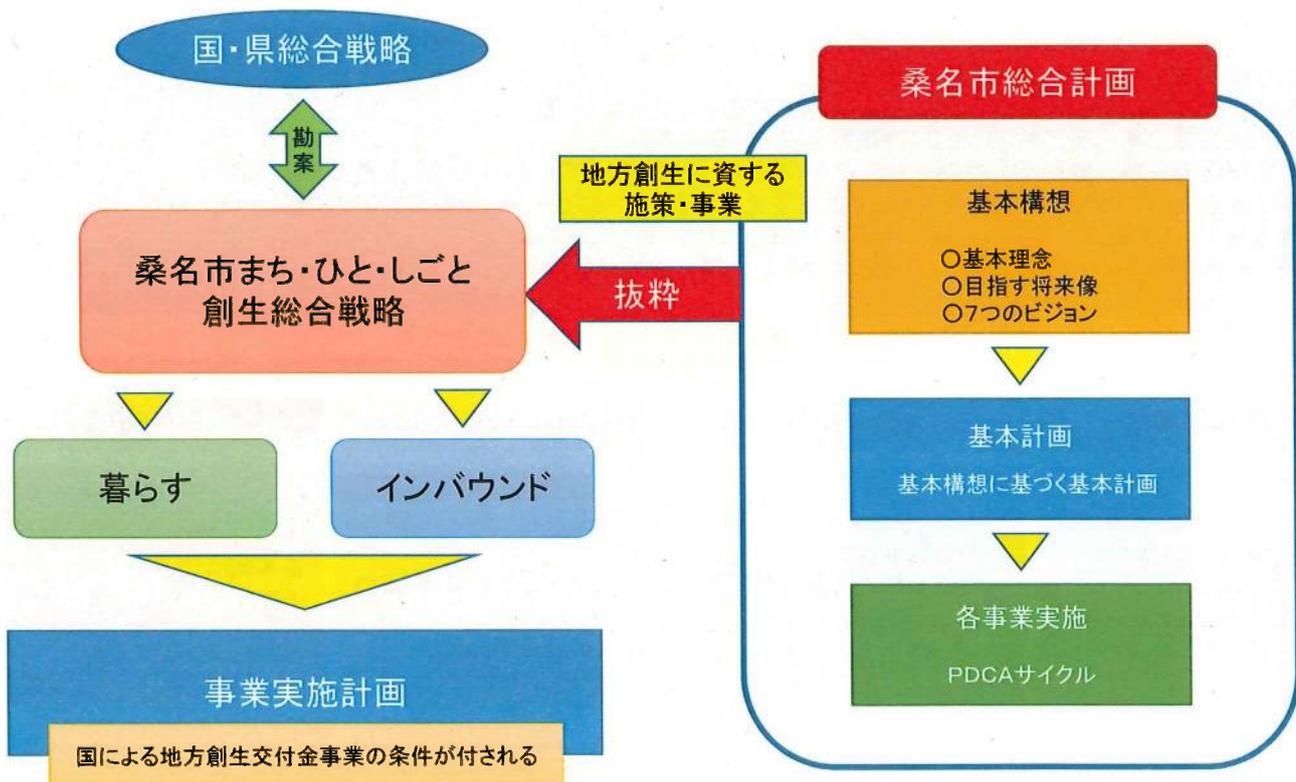
平成27年度桑名市一般会計補正予算（第8号）

地方創生加速化交付金事業の概要

市長公室 政策経営課

H28
3/7 15:27

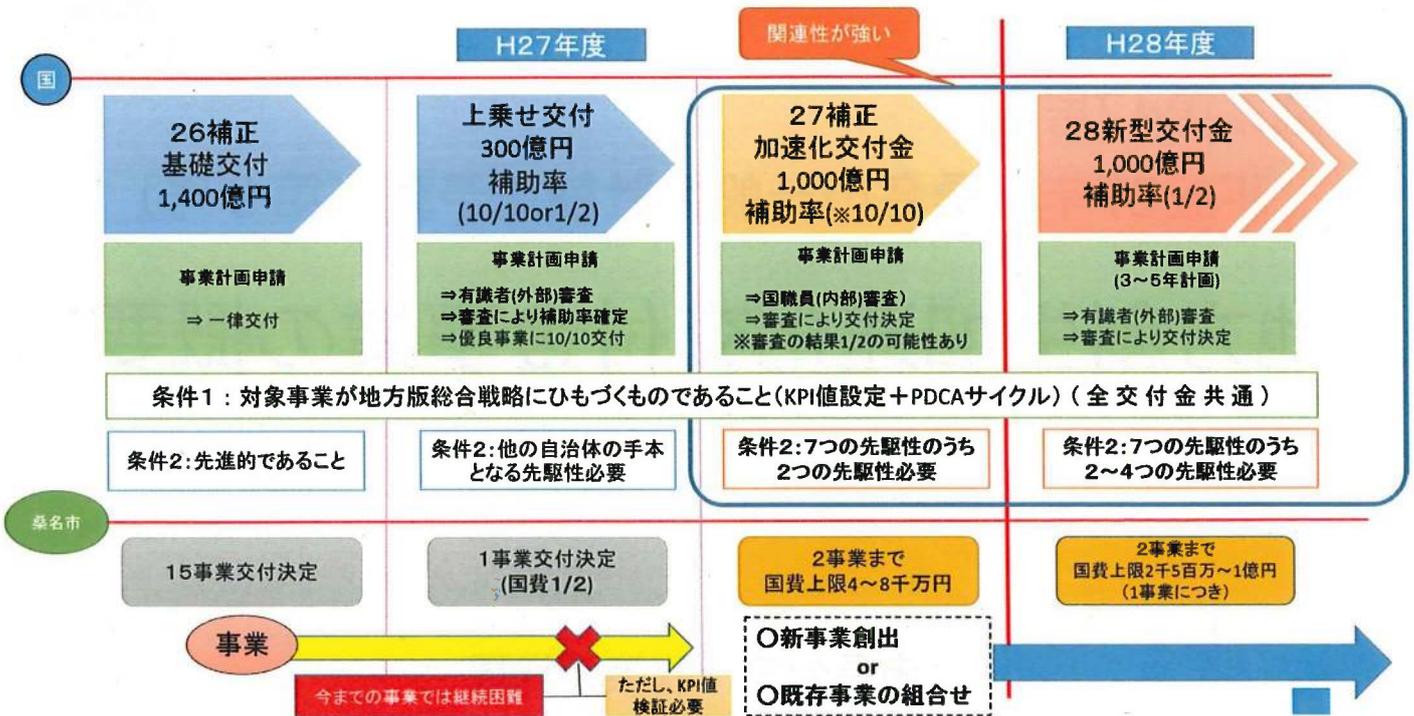
国の交付金を活用した桑名市総合戦略の実施事業案について



国の示す地方創生交付金の仕組み



本物力こそ桑名力



2

地方創生における「先駆性」について



本物力こそ桑名力

- ① 自立性 : 事業主体が「稼ぐ」能力を有すること。
- ② 官民協働 : 地方自治体だけでなく、民間と協働して事業を実施すること。
- ③ 地域間連携 : 単一自治体だけでなく複数の自治体で実施すること。
- ④ 政策間連携 : 単一政策だけでなく複数の政策の課題を同時に解決できること。(例: 子育て×介護など)
- ⑤ 事業推進主体の形成 : 事業を継続的に実施する主体が必要。特にリーダー格の人材を有するとよい。
- ⑥ 地方創生人材の確保・育成 : 事業を実施する人材の確保と育成をすること。
- ⑦ 国の総合戦略における5原則等 : 将来性・地域性・直接性の観点や、新規性があり、他の自治体の見本となること。

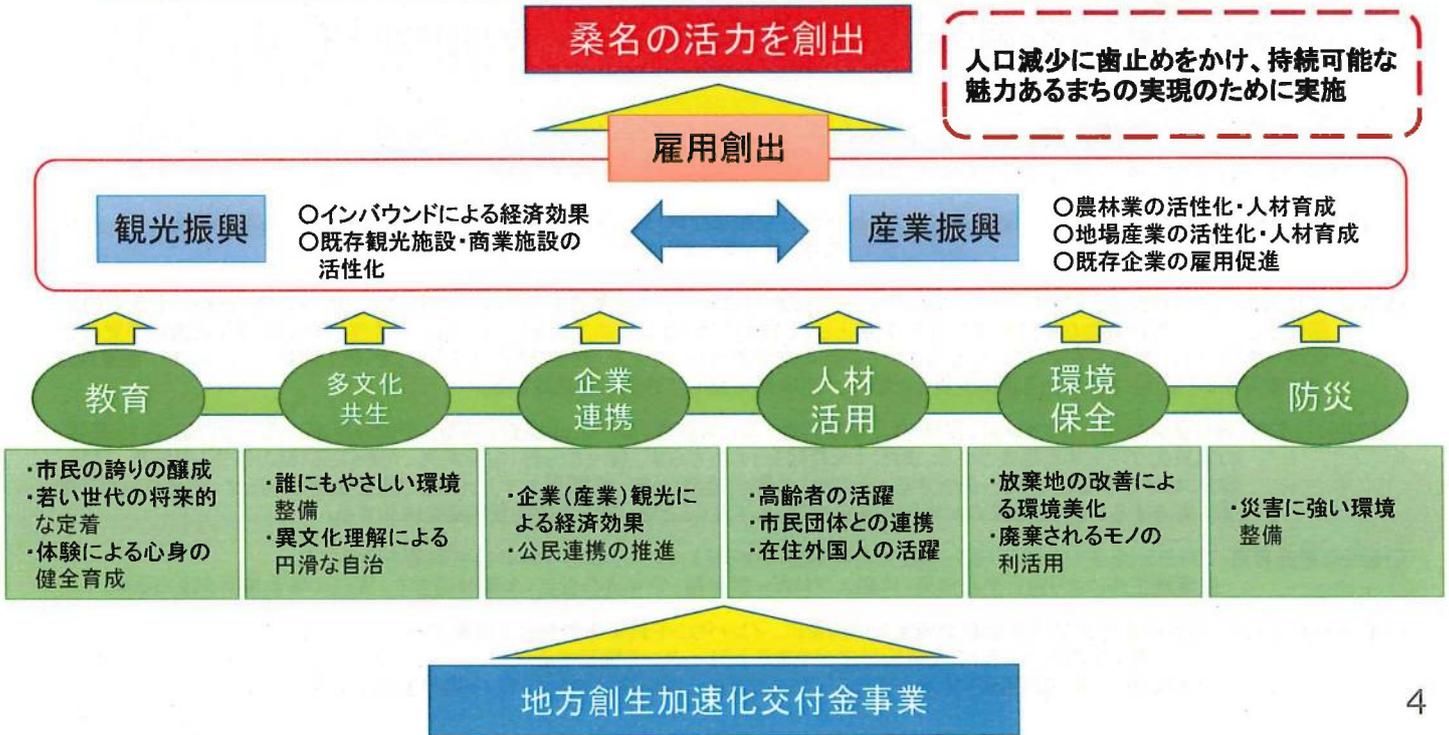
26補正 基礎交付	上乗せ交付	27補正 加速化交付	28 新型交付
・先進的な取り組みであればOK (申請が受理されれば○)	・他の自治体の見本となるような、先進的な取り組みを優良とする。	【先駆性】 上記②、③、④のうち2つ 以上の項目が必要	【先駆性】 基本的に 上記①、②、③、④が重要

3

桑名市の地方創生事業の対象分野と相乗効果



本市地方創生事業は各分野について横断的に実施し、その相乗効果を狙う。



地方創生加速化交付金事業



事業1	国際観光まちづくりKUWANA	(ポストジュニアサミット推進事業)	事業費：38,000千円
	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業主体となる国際観光化推進プロジェクトチーム(仮称)を設立して、事業を企画・立案し、実行する。 ○主に海外から学生と保護者の教育観光(修学旅行)を誘致し、市内観光ルートを周遊する。 ○外国の学生と市内児童・生徒(外国人児童・生徒含む)との合同特別授業や史跡等の見学を実施し交流を深めるとともに、異文化理解を促進する。 ○海外の企業関係者等を誘致し、市内の企業視察などを通し産業の観光化を推進する。 ○事業主体は、新たな観光資源を作りだし、自主財源を確保する。 ○加速化交付金事業では主に事業主体の事務と事業の調査・分析の業務委託を実施する。 		
事業2	桑名竹取プロジェクト	(六次産業化推進事業)	事業費：41,500千円
	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業主体となる竹取プロジェクトチーム(仮称)を設立して、事業を企画・立案し、実行する。 ○主にタケノコの六次化と「竹」を活用した新たな製品開発と観光資源を生み出す。 ○専門家や関係者による「タケノコ」と、「竹」の新たな利活用のための製品開発を共同で実施し、販路確保まで実現する。 ○事業主体は「竹」を素材にした製品販売を上記研究の基、戦略的に販売し、体験プログラム等の観光資源を生み出し、自主財源を確保する。 ○一次産業者と二次・三次産業者のマッチング事業を実施する。 ○事業主体の事務と技術支援、業務委託等を実施する。 		

事業1 国際観光まちづくりKUWANA (趣旨)



本物力こそ桑名力

目的：国際観光を地域全体で推進することで、地域経済の向上を促進する。

方向性：事業主体が将来的に自己資金で運営ができるよう関係機関で支援する。

本事業：外国人の受け入れ態勢強化を図り、誘客手法を地域全体で編み出す。

○国際観光化推進プロジェクトチーム(仮称)：市(教育委員会含む)・観光団体・商工団体・金融機関・旅行会社・NPO法人等で構成。事業の企画・立案・実行等に取り組む。

○市場：主に海外に向けた事業を展開し、「ジュニア・サミット開催地」のブランド力を発揮する。今後「桑名ジュニア・サミット(仮称)」を定期的に開催することで、持続可能な事業推進を狙う。効果として、市内児童・生徒との交流を図ることで、英語使用機会の増加と国際感覚の醸成ができる。また、来訪者にも「第二のふるさとKUWANA」を印象付けることで、再度来訪してもらうこと(個人旅行)にもつなげ、地域活性化に寄与する。また、本市にある産業を担う企業に、「産業観光」として外国人を誘致する。

○調査分析業務：旅行会社等のシンクタンクに委託をし、市場調査、ニーズ調査、ターゲット調査を実施。その分析をし、データに基づいた事業の効果的な手法等を提案させる。また、「教育観光」のみならず、様々な分野(産業観光、伝統工芸(匠の技術)の継承、免税等)における可能性も調査・分析する。その他、各関係機関(外部・内部問わず)との連絡調整機能も持たせ、円滑な業務を推進に寄与する。また、地域の大学等を助言機関として置くことで、関係者の調整機能を強化する。

○新たな観光資源：プロジェクトチームにより新たな観光資源創出に取り組むことで、事業主体の自主財源を確保する。
※事業主体により旅行商品開発(外国人プロガー誘致等)や今後の住吉(九華公園含む)周辺の事業検討を進める等。

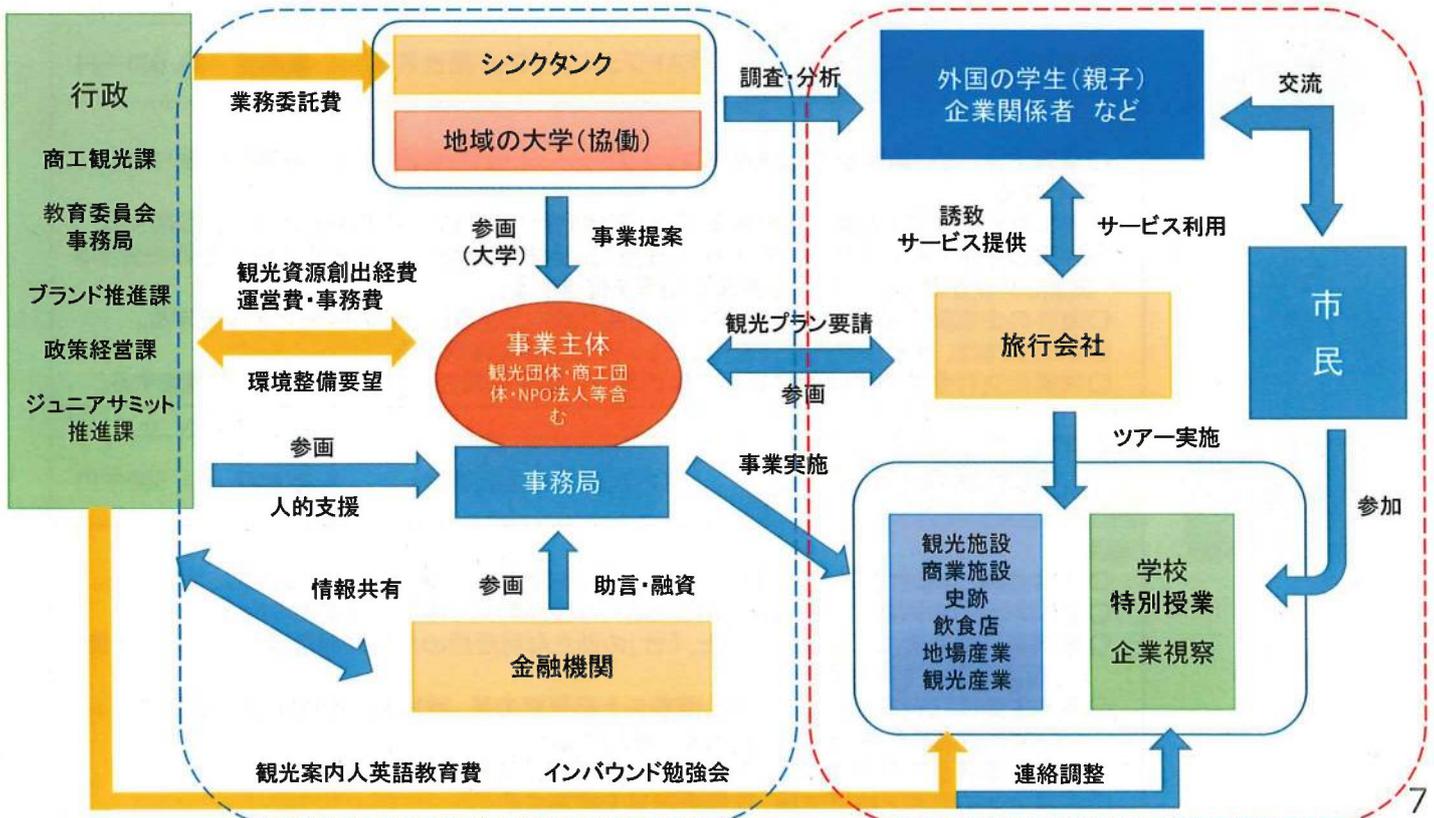
○インバウンド対策：市内商業施設や飲食店等の経営者を対象に、インバウンド対策の勉強会を開催する。
また、観光案内ボランティアに英語対応ができるようレッスンを開催する。
中部国際空港や関西国際空港等でのデジタルサイネージの検討やSNSサイト開設を検討する。

6

事業1 国際観光まちづくりKUWANA (スキーム図)



本物力こそ桑名力



7

事業2 桑名竹取プロジェクト (趣旨)



本物力こそ桑名力

目的： タケノコの六次産業化と「竹」を用いた事業を推進することで、地域の活性化を図る。

方向性： 事業主体が将来的に自己資金で運営ができるよう関係機関で支援する。

本事業： 事業のための研究開発を進めると同時に、六次化に資するマッチング事業を実施。

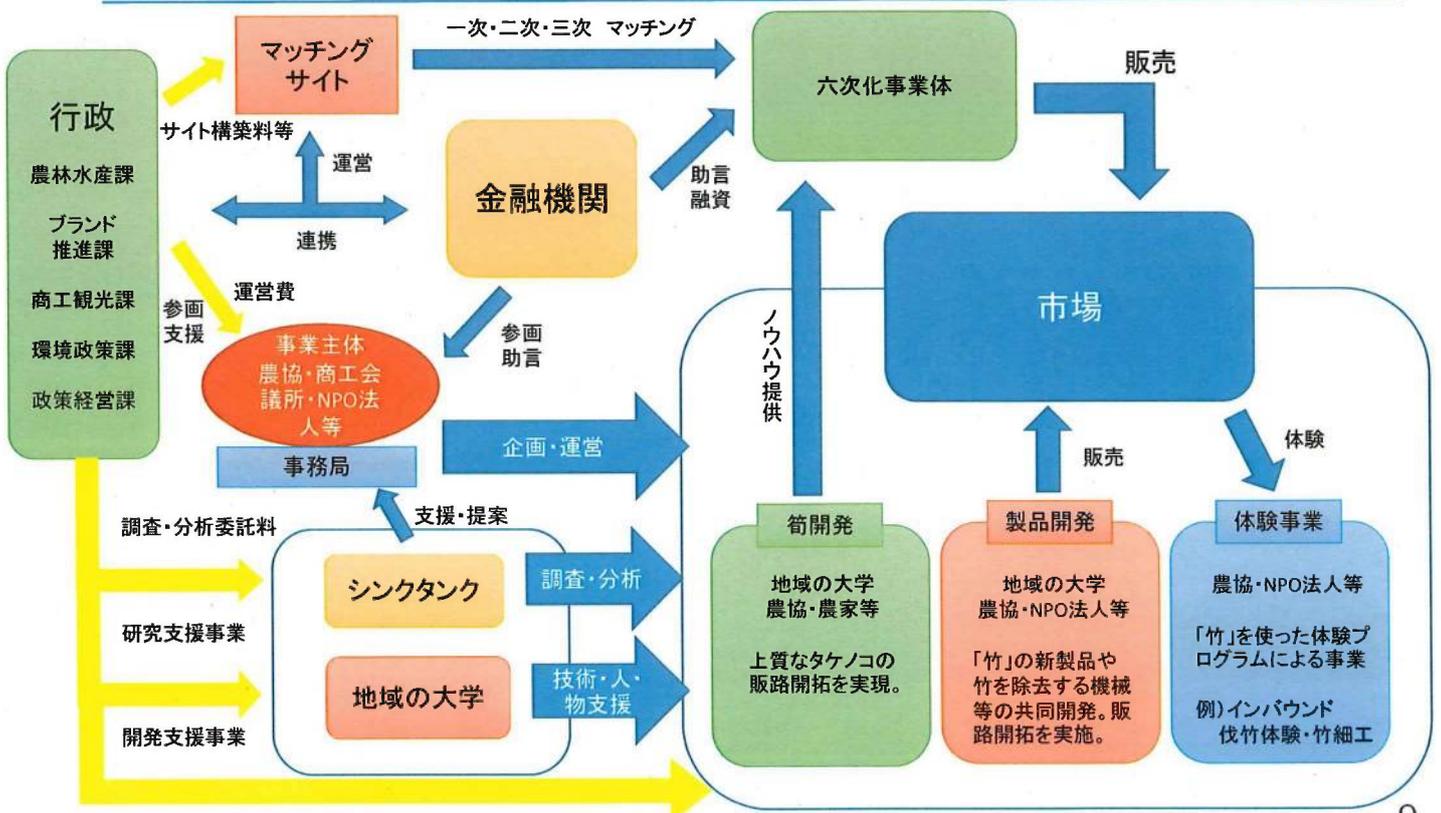
- 竹取プロジェクトチーム(仮称):市・農協・地域大学・商工団体・金融機関・NPO法人等で構成。事業の企画・立案・実行等に取り組む。
また、イベント等(有料)を開催し、将来的な運営費を捻出する。
- 市場:地産地消を基本に事業に取り組むが、販路を市外・県外に向け拡大し、将来的には世界に向けて販売できるようにする。タケノコはもちろん、その加工品や新たな竹製品を戦略的に売り込む。
- 調査分析業務:六次産業化に強みがあり、かつ販路開拓に長けたシンクタンク等に委託し、データに基づいた事業の手法等を提案させるほか、本事業にかかる製品の販路を確保させる。また、関係者間の調整やプロジェクトチームの補助をさせる。また、地域の大学を助言機関に置くことで、関係者の調整機能を強化する。
- 製品開発支援:事業主体が竹の利活用を念頭に、新たな製品の開発をするための支援を実施する。また、桑名の伝統工芸や匠の技術とのマッチングをし、新たな価値の創造を検討する。事業は農協・NPO法人・地域の大学・シンクタンク等が共同開発する。また、製品の販路拡大のため、東京等に向けて戦略的にマーケティングを展開する支援を実施する他、体験事業の支援も行う。
- マッチング事業:市と金融機関で一次産業者と二次・三次産業者が六次化事業体を形成できるよう、マッチングサイト構築・運営を委託する。本事業の主旨を理解してもらった一次生産者をサイトに登録し、二次・三次産業者の募集をする。

8

事業2 桑名竹取プロジェクト (スキーム図)



本物力こそ桑名力



9

